東郷村報

第61号

昭和32年1月10日
発行所
宮崎県東臼杵郡
東郷村役場
日向市富高
株式会社 安藤印刷所
電話64番

春頌

丁酉元旦

年頭にあたりて

東郷村長　黒木松美

多忙に明け暮れた昭和三十一年を送りこゝに希望に燃えた昭和三十二年の新春を迎えましたことは村民の皆様と共に慶びに堪えません。年頭に際し昨年を顧みますと国際的に先づソ聯との国交が再開され国連への加盟が出来て初めて真の独立国家としての第一歩を踏み出した感のすることであります。国内に於ては石橋内閣の新しい発足を見又本県としては多年私達が強く要望して参りました日向市細島臨海工業地帯へのパルプ工場誘致が復雑な反対運動があつたにも拘らず遂に東洋紡パルプ工場の誘致に成功の糸口を開くことの出来ましたことは何と言つても私共の大きい歓であつたと思います。

村内に於いては新しい教育委員の発足、常設保育所の建設、新農山漁村振興町村えの指定、納税機構の改組、農協再建計画の促進、坪谷寺迫小学校の老朽校舎改築等々、村政は地味ながらも漸次その実績を挙げつゝありまして之等も村民各位の絶大なる御協力の賜であると深く感謝している次第であります。

新年、正月とは毎年〳〵きまつた様に繰返されるものであつて、珍らしいものでも又昨年を切離されたものでもなく、世の中が急に新しくなり変つたりするものでもないのでありますが、三十二年こそは明るい希望を持つて努力の出来る年ではないかと思います。新年を迎えると誰もが今年こそはと新しい希望と計画を持ちこれが実現に努力するのでありますが、この希望なり計画が少しでも多く実行出来た年こそ初めてよい年であると思うのであります。

私は年頭にあたり沢山の希望と計画を持つていますが第一番に村民の皆様と共に次のことを誓い実行致したいと存じます。即「お互がよいと考え自分の為に又社会の為に斯く為すべきだと考えたことは積極的にしかも自発的にこれを実行すること」であります。このことは何も新しいことでもなく又私の身勝手な誓いでもないのでありまして各位のよく承知せられていることであるが私も皆様もなかなか実行の出来ないことでありますので、あえて私はこのことを村民の皆さんと共に年頭に際しお誓い申上たいのであります。私は新しい年の初めに村政の方針として既存の施設、組織、施策等に血と肉をつけることに努力する他民意を大いにとり入れた誰にでも発表の出来る明るい村政の確立について更に努力したい所存でありますがこのことも前述しましたお互の誓の果されることにより又村民各位の絶大なる協力によつてこそ実現出来るものと確信するのであります。

私はこゝに村民の御健康と幸福とを祈り私に対する指導と御鞭撻を念願しつゝ皆様と共にこの一年を幸多かれと祈る次第であります。

新春に当り

村議会副議長　三浦治郎吉

新年を迎えたことを心から祝福いたしまして去つた年についても感謝したいものと思います。無意味にお互の世界を終らない様に務め合うことが人間社会の大きな使命だと思います。

その為には無計画であつてはならないと思います。地方財政の困窮なことは全国的であることは推して知るべきと思いますが、財政確立する為に新生活運動も積極に強調されている今日大いに同調しその為には先づ貯蓄の励行だと思います。一戔を笑う者は一戔に泣とか、泣かざる様一万村民一体となり貯蓄熱に傾注し本村の財政確立の一還ともなる様務めてこそ、村税の完納もでき、農協再建整備の基もなると思います。

新年頭初に望み村民各位の御健在を祈り健全なる財政確立に邁進されんことを切望してやみません。

年頭有感

県会議員　小野弘

先づ平穏な新春を迎えたことを皆さんと共にお祝いしたい。

昨年はかつてない二年続きの豊年であつた。この豊年が神武以来の好景気の一因となつていることは事実であつて、好景気の分析は別として景気の好いことは悪いことよりよい。

扨て私達の生活は終戦後全く息をつく間もない位急迫したものだつた。それが急に広い明るい処へ出ると自由で奔放になりがちである。今年は平穏で自由で楽しい年の予感がする。然し私はこの年をして調子に乗つて自由奔放な年としたくない。

あくまでも自重し真の幸せを求めて将来に備える飛躍の年としたい。

年頭所感

東郷農協長　奈須兼吉

私は去る昭和三十年八月現職に就任しました。役員職と共に一年有余を苦難と闘い難局の打開に邁進して参りました。顧みて寧日なき苦闘の才月でした。其の間村当局並に議会の厚き御援助と婦人会、青協等の心からの箱貯金又は山林売却者其の他の御協力により現在貧弱乍ら四百弐拾万円余の予猶金を生ずるに至りました。今回は国の親心による農協整備特別措置法に従い、年内五十七組合の座談会を終了したのであるが、七六〇万の増資を懇請し法の恩典に浴することで三ケ年で、二千五百万円の資金の増強を計り組合の再建を計るべき計画については組合員各位の絶大なる御協力を得つゝある所でありまして、終戦十二年目の昭和三十二年を迎えたのであるが、本年こそ農協の重大なる過渡期であると共に東郷村政の進展にも最大の重要年であることを自覚し、組合員諸賢の協和団結と御努力を希う次第であります。

新春を迎えて

東郷農協専務　高森文夫

今年の一月、二月、三月の三カ月の間に東郷農協の整備促進が成るか成らないかの重大な関頭に立つていますので、年頭に当つて想うことは専らその事ばかりです。それが成就すれば始めて私達の頭上に青空があらわれると思います。

組合員各位の絶大な御協力をお願い致します。

教育委員長　橋口武志

村興しは人造り（立派な社会人）が第一歩であるとの信念の下に、徒に大言壮言を慎み言行一致実践の人としての一年であれと心に誓う、多端な村政又乏しき財政の中にも教育施設の充実等大事業が毎年完成されて行く三者一体協力しての村政の気魄にも酬いられる一端かとも信ずるものである。

村会議員　松原千三郎

数多き希望を持つて新年を迎える。やるべき事なさねばならぬ事盛沢山である。過去二カ年議会山林部委員として村有林野の大体を踏査したのであるが是が将来村民の経済の上にどれ丈寄与するか民主的な運営と充実化を私の今年の課題として勉強し又推進したいと思う。

東郷小学校長　都甲鶴男

年々進歩しつつある社会機構は、科学性を含み、しかも複雑である。こうした社会機構と取組んでいる我々の物の考え方は、適応性と啓発性の面から見て実に恥しいかぎりだ。

『ではどうすべきか。』と人生の後半を迎えて希望を持つことも又愉快である。

山陰巡査部長派出所　田中新吉

村民各位の御協力により平穏裡に昭和三十一年を送り此処に新しき年を迎え慶賀に堪えません。今年も防犯に又は交通事故防止に万全を尽し明るい村としたいので村民の皆様には前年に倍して御協力の程を御願い申し上げます。

羽坂公民館長　寺原喜市

明まして御目出度御座居ます。三十一年と云う年は大した変り無い良い年で有りました。本年も昨年より住良い年で有る様御祈します。私達の公民館も年と共に進んで参りました。今少し部落民が公民館に対する熱と誠意が有りましたらより良い村が出来る様感じました。年の始にあたり御願申上ます。

寺迫小子供会長　田代正純

一九五七の新年をむかえてぼくはこう思う。残された校舎の工事も始まりまもなくすべてが新しくなる学校。そして小学校生活最後の年、また中学校へ進学の年、ぼくの心ははずむ。そこでぼくは、毎日を反省しながら「一歩前進」に努力しようと思う。

東郷中学校長　河野新

我が子と我が教え子のために一切を捧げ尽して悔なき年であれかしと思う。我が子よ、我が教え子よ、親に、教師に一日も早く追いつけ、そして追い越せと念ずること切。

福瀬公民館長　新名哲朗

老若を問はず明日と云う刻へは何かしらの望が托せる。まして新春ともなれば云いしれぬ神祕さと夢が期待される。行きし年の苦悩も悔恨も新春の光と共に消え去り私は喜びと勇気を以て再び繰りかえされる人生行路へ旅立たん

陶山勲

明けましてお目出度う御座います。

サル年はサツて酉年を迎えることになりました。第一考えることは、

(1)白鳥のように潔白であること、

(2)荒鷲のように事に勇敢であること、

(3)鳥の囀のように口に歌をもつ、一九五七年の年頭の感であります。

寺迫小学校長　山本信

今年は酉年わたしの年。取り穫り捕りと酉年は慾深と言い給う勿れ。散ぜんと欲すれば先ずトリコメとは某禅師の言葉げな。大いに学び、大いに働き、散ぜんが為にトリコムことこそ、酉年の真骨頂ではぁるまいか。何はともあれ酉年礼讃の弁如件。

教育委員　杉田三郎

昭和三十二年の初日が冠嶽の上に輝いた。今年は東郷村は変化と進展の年だと思う。内では新農村建設振興計画の実行の年であり、外には細島臨海工業地帯に東洋紡の工場建設が踏切られる。農業も自給自足から市場を対象とする企業経済へと前進せねばならない。目覚めよう、そして実践しよう。

福瀬小子供会長　筌瀬幸郎

僕がいつも考えて居る事は楽しい学校を創ると言う事です。皆んなの口から学校へ行くのが楽しい、面白いと言われる様になつたら勉強も自分から進んでする様に成ると思います。町の学校の様には出来なくても実験道具、スポーツ用具等出来るだけそろえてほしいと思う。

小野田青協長　都田将史

希望に充ちた一九五七年を迎え、おめでとうございます。今年は酉年で若人の血は燃えています。美しい鳥のように羽ばたきをし前より問題になつている新生活運動を末端まで呼かけ新しい東郷村を文化の花咲く又美しい明るい東郷村建設を一致協力のもとで進めましよう。

村会議員　三尾文子

新春を迎え皆々様の御多幸をお祈り申しあげます。光陰矢の如しとか思うことの何一つなし得ずして徒らに年を重ねることを心苦しく思います。恵まれた健康に感謝しつゝ、与えられた仕事に懸命の努力をなし、社会のために働きたいと思つております。

坪小子供会長　寺原チハル

おとなも子供もけんかしないように。そして校舎を美しくし、みんなが健康であるようにしたい。新しい校舎はいつ頃建つのであろうか。卒業までに建つて私達六年も日当りのよい教室に一時間でもよいから住みたい。

海野実門

何事も「出来ぬ出来ぬ」ではイツ迄経つても出来ない。『ドウでもやツつけねば置かぬ』勇猛心さえあれば何事でも圧服する事ができる。其実行に当つては最も緊急な一事を選び、一事をやツつけたら自然勢に乗つて、二事も三事も次ぎ次ぎに片付く。之が所謂「一角破り」です。

坪谷中学校長　坂口驍

村民の皆様おめでとうございます。

今年は中学校教育を通してプライドを持つた青年をつくりたいと考えています。洋服だけきれいな中味のない青年でなくて善悪のはつきりしたプライドのある青年養成であります。

村会議員　黒木初美

あの山此の山と売り尽されて行く村有林も生れ変つて新たな学校となり道路となる本当に有難い事である。そこで御恩返しに植樹と管理に一層努力して次期の公共施設の為に育成すべきでしよう。一本の杉一本の松想えば偉大なる力の持主である。

村婦協長　塩月みどり

新春を迎えましてお目出度うございます。

昨年本村婦人の姙娠中絶は月十八名位の平均で行われています。こうした中絶を度々くり返しますと母体が不健康になり引いては家庭生活をも暗くいたします本年は計画出産を婦人一人一人がよく認識していたゞき健康な明るい主婦であつていたゞきたいと存じます。

坪谷小校長　黒木政夫

予算なんか気にせずに、素晴らしい校舎をつくりあげて、澄んだ大空に大きな息を吐いてみたい。先生は経済的なものを考えないのでどうも困ると言われたところで、それが社会性の不足ということなら捨てても惜しくはない。

東小子供会副会長　中田保

新しい朝、なんと気持のいい空気でしよう。きようも国連本部には日章旗がへんぽんとひるがえつているでしよう。きよ年までは日本は何だかドロドロした感じでしたがことしからは違います。ぼくは祈つています。日章旗がどんな所でもいつでもいつでも、平気で立てられる日が一時間でも早くくるようにと。

福瀬小学校長　平田平三郎

不惑の令を既に超えながら日常茶飯事に至るまで如何に思い惑うことの多き、自己確立を第一とし大人の風

記事の都合で二面につづく

一簀の土

◇干支によると、今年は酉年である。トリは鶏が象徴される。

「雞鳴暁を報ず」の語のように、雞は毎朝夜明けを人間に報じてくれる。一番雞、二番雞、三番雞と。

人の世の夜明けは誰が報じてくれるだろうか。人の心の黎明を何が教えてくれるだろうか。「それは乃公だ」との信念が一人一人に必要なのではなかろうか。

◇「雌鶏暁を報ず」の語もある。めん雞が夜明けを知らせることである。雄雞の使命にまで雌鶏が侵して来ることである。人の世にもこんな姿がないこともない。男の使命、女の使命を深く考うべきではあるまいか。

◇「雞口となるとも牛後となるなかれ」の語は大きものゝ尻より小さいものでも頭となる方がよいとの意だろうが、これは静かに考えてみる必要があるような気がしてならぬ。

◇「牛力をもつて雞を裂く」、「群雞中の一鶴」等々雞に因んだ語も多い。どれも意味深い語である。座右の銘とはならなくとも味うべき語が多い。

◇酉年に雞りに因んだ語により己れの行動を律することもまた徒爾ではあるまい。

格は備えたい。先輩各位より忠言英知を頂くことのできる人徳の形成を第二に望みたい。昭和三十二年の新年に当り自己内面よりのひそやかな願望である。

東郷村青協長　橋口　清

輝しい昭和三十二年の新春を迎え新なる思いを感じます。今年こそ青年活動発展の為に足元から方向お的確に見つめ努力する考えである。今年も村民各位の御指導をお願い致しますと共に青年団活動の発展する事を祈念致します。

坪中生徒会長　石川　修士

国内の動き、世界の動きはすべて一新した、日本にとつては日本再建の為の新しい門出だ、そこで私たちは一日本人であるという自覚とほこりを持つてお互いで助け合い未来の日本の為に、しつかりやつて行こうではありませんか。

村青協副会長　那須　映江

〃新春〃これ程我々青年にとつて魅力ある言葉はありません。政治的又人間的にも我々は青年としてのプライドを持ち次代をになう若人として恥じることなくすべてに努力しなければならないと思います。

坪中ＰＴＡ会長　中谷亀太郎

年頭に当り一言希望の一端を申上たい

坪中校は創立十周年を迎えて年々多数の卒業生を送出し月日と共に隆盛なることは誠に嬉ばしいことであり本年度十周年記念としてテープコウダの購入をはじめ参考資料、備品等の充実と水道施設に全力を注ぎたいと思う。

東郷中生徒会長　直野喜代美

新春にあたり私たち東郷中学生徒会は大きい希望にはずんでいます。

昨年は本校で生徒会研究会を行い、生徒会活動のあり方を充分研究しました。今年はその研究成果を土台として更に生徒会が発展するようみんなで努力していくつもりです。

その意味から今年は実践の年であり、色々やりたいことがありますが、特に力を入れて行きたいことは「学力スポーツの向上」と「発表力をつけること」を考えています。

完納　村税を完納致しましょう

慌しい中に酉年新春を迎えましたが本年こそ村民各位の生活と我が村のために躍進向上の年でありたいものです。

さて前号の村報に掲載して年末村税完納について御協力願つたところでありますが村の最も重要な財源である税収は皆様の多大なる御協力を仰いだにも拘らず特定の区を除き期待した実績は揚つておらないのであります。これには種々事情もあることゝ察せられるのでありますが、やはり永い間の慣習となつている旧節期が年間の総決算時であるということが大きく響いているものと予想されます。現在村税の滞納はおよそ七〇〇万円という厖大な額になつておりまして是が非でもこの巨額の滞納を本会計年度中には整理しなければならない財政的窮地に追い込まれているのであります。税の公平を期する為の手段として滞納の整理については鋭意努力を集中して参つたのでありますが遺憾ながら皆様の満足を得る点に到達していない実情にある訳です。従つて村と致しましては旧年末が大半の村民の方の総決算期にあたりますので此の際更に左期の期間を旧年末村税完納期間としてひろく皆様の御協力をお願いする事と致しまして、この期間中役場全職員を配置して徴税の任に従事させる事に致しましたので特に税の重要性を再認識されて百パーセントの納税成績が得られますよう格別の御協力をお願い致します。

旧年末村税完納期間
一月二六日から
一月三〇日まで

◎一九五七年度——農業経営の在り方に想う——

昨年の米作は東郷村に於ては十二号台風の猛威と七—八月の旱害によつて平年作に比較して三割近い減収に終りましたが全国的には大豊作で二年続きの豊作でありました。又世界的食糧過剰の年でもあつて東南アジヤ、加州等の米作は過剰となり我国の輸入価格は内地に於ける政府の米穀買入れ価格をはるかに下廻り、小麦は豪州、アルゼンチン、北米合衆国、カナダ等大産地の大豊作で輸出用小麦の「ストツク」も例年の二五〇〇万トンが五〇〇〇万トンと倍加して平年輸出量の二カ年分が貯蔵されていると発表されています。

日本農業もこの世界農業の圧迫を受け経営は益々困難に直面しなければならなくなりました。そこで本年の農業経営の在り方について考えて見ましよう。

戦後日本農業の在り方は世界農業の影響を強く受けるようになり漸次変更されつゝありましたが最近は特に商業的農業経営に移向して経済と技術の結びつきが強く採られるようになつてきました。

その大きな現われとして麦類を初め換金力の乏しい作物は次第に作付が減少して換金力の豊かな、そ菜、果樹、花卉類の作付が急激に増加し市況に対する関心が強くなり又共同の力によつて市場開拓、市況の維持に努力が傾注されたり、又換金するために手数や経費を要する作物の飼料化が台頭して酪農が経営に採り入れられる場合もいたる処に見られるようになり一定の面積から「いか」にして多くの収益を年間を通じて得られるかという風に農業の組合せ方、いわゆる農業経営の方向に商業的考え方が強く打ち出されるようになり先進地に於ては既に商業的農業経営が採用されつゝあります。

本村の場合は耕地面積も少く田畑合せて平均僅かに六反余に過ぎない上に村の経済総体から見ても山林に依存する度合が強く山を離れては経営が成り立たないのが現状でありますから、広い意味の農業経営即ち農業用に共し得られる土地を含めた大乗的経営を考えなければなりません。

山林、原野、耕地、労働力、作物、家畜土壌条件、気象条件、市況と消費、交通の便否の十の基礎条件をよく「がん味」して最もふさわしい組合せを研究して部落を一元としてほんとうの適地適産を生みだすよう方向転換をはかる時期が到来しているのです。本村は昨年十月以来農村振興特別助成地域としての指定を受け盛り上る力を結集して、今まさに立ち上らんとしているのであります。

山林の経営と農作業、農作物と家畜、換金作物と酪農、飼料と家畜、耕地と作物、経営規模と労力の配分というように有機的関連性を想起して無理のない経営を組み立て輝かしい希望に満ちた一九五七年を迎え一致協力郷土経済の振展に邁進しましよう。

やれるだけやつて見ましよう

今年はトリ年だそうです。「さあトリ年じやエンギが良いぞ」金トリ、嫁トリ、婿トリ、何でもトリ入れる年じや。何とかエンギをかついで祝酒をかたむけ度く成るのが正月らしい気分です。

扨て此のエンギ、ピツタリ当つて良い事ばかり有るためしはあまり無い、やつぱり今年も駄目だつた、来年こそは良い年が来るかもしれん。と言う場合が多い様で有ります。

鶏を育てるにしても、「卵もなんも産みやせんから、近頃らあチツトモ養うちも呉れん」

養ひが悪くては卵は産まない事に成つて居ます、ところが私共の廻りにはこんな事がうんと多い訳です。そうして最後にはこれが反対に成つてしまいます「産まんから養わん」のが「産まんから養う事が出来ん」に成つてしまいます。即ち米が出来ないから、肥料が買えん、と言う訳です。それが繰返されれば繰返される程肥料が買えなく成つて来ます そこで「来年な良い事が有るかもしれん」と言う、淋しい頼りをエンギにカツイで暮す事に成ると言う訳です。

今年こそ此の原因を作らずに結果丈を期待する様な事を止めて、

より良く出来る栽培法を研究した栽培、

より良く産み出す飼育法を研究した飼育

を実行して

「肥料も理想的に入れた、手入もやれる丈やつた。今年こそうんと出来るぞ」と言う明るい話題で暮したいものと思います。

人事を尽して天命を待ちましよう。

天命だけ待つて居たのでは罰が当ります。

診療所だより

新春お目出度うございます

新年を迎える度に想うことですが今年はこの仕事をしたい。このような気持で暮したい。あの仕事は是非完成したいと年頭に深く心に期して出発するでありますが十二月年の瀬になると只心せくばかり又新しい年を迎える一九五七年今年は国民健康保険事業開始以来第四年目だ

この仕事の重大性については村民各位よく認識し協力して戴いている点深く感謝申上げる次第です。

御承知の通りこの仕事は疾病保険が主体でありまして農地法第二十三条に小作料は金戔以外のもので支払い若しくは受領し又は第二十一条第一項の規定により農業委員会が定めた額を越えて支払い若しくは受領してはならない。

そこで本年は疾病予防に重点を置いて仕事を進めたいと考えるものであります。健康保持増進の施策として全村民の健康診断、乳幼児の保育指導、蛔虫駆除その他健康相談と強力に実施する計画です。

特に本村の結核患者は要注意者を含み推定五〇〇人を下らないと考えられこれが療養には長期間を要し個人経済の逼迫をも予想され根本対策の要を痛感するものであります。

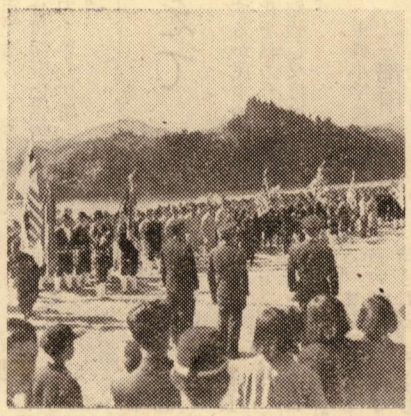
本年はまず予防対策として家族感染防止のため患者と同居人の定期健康診断、潜在患者の発見、在宅患者の療養指導等保健所各療養担当者の協力を得て実施する考えです。

その他衛生思想の普及環境衛生の浄化等村内各種団体村民各位の御協力を得て本事業目的達成に努力致したいと念願するものであります。

堂々たる偉容を示した消防始式

恒例の東郷村消防団の消防始式が一月八日鶴野内川原で行はれた。当日は未だ曽つてない好天候に恵まれて団員の意気はいやが上にもあがり装備に訓練に発水操法に優秀な成績をおさめた。特に十二台の動力ポンプの一齊放出の壮観は数千の見学者の胸をおどらせた当日の成績は次の通りである。

一、総合成績
　一等　第八部（鶴野内）
　二等　第四部（羽坂）
　三等　第一部（小野田）
二、教練成績
　一等　第八部（鶴野内）
三、標的落下
　一等　第九部（八重原）
　二等　第八部（鶴野内）
　三等　第三部（迫野内）



消防始式風景

農業委員会便り

小作料について

昭和三十二年の新春を迎えまして心からお慶びを申上げます。

扨て旧正月も間近かに迫り農地の小作料払込みの時期となりましたので念の為次の点に留意下さる様お願い申上げます。

農地法第二十三条に小作料は金戔以外のもので支払い若しくは受領し又は第二十一条第一項の規定により農業委員会が定めた額を越えて支払い若しくは受領してはならない。

どのような名目によるものであつても前項による制限を免れる行為をしてはならない。

「註」同法第二十一条第一項とは農業委員会は小作農の経営を安定させることを旨とし省令で定める基準に基き知事の認可を受けて農地ごとの小作料の最高額を定めなければならない。

尚同法第九十二条により右に違反した者に対しては三年以下の懲役又は拾万円以下の罰金に処せられる事になつて居ります。

本村に於ては知事の許可を受け既に決定小作料に就いて公示済みでありますので洩れなく金納下さる様お願い申上げます。

隣人愛に生きる人

三尾文子

年の暮もおし迫つた三十日の昼過ぎに一人の男の方が尋ねて来られた。何事かとお会いして見ると、「実はお願いがあつて来ました。」とポケツトから二千円のお金を出され、「これを小野田と田野川の火災にあわれた方にあげて下さい。」といわれる。「どうして私に」とお尋ねすると「こうしたことに名前を出すことはあまり好まないのでいろ〳〵とお届けする方法を考えたのですが、あなたは民生委員もしておられるのであなたにお願いするわけです。誠に済みませんが届けて下さいませんか。」とのことである。私は強く胸を打たれ、しばらく考えた後、「それではお使いはいたしますがお名前をいつてはいけないでしようか。」とお聞きすると、「それだけは」と強くいわれるので御意志を尊重して、ある篤志家からということにしてお届けすることにした。こうした温い愛の手により罹災者の方々が一ときも早く起ちあがられんことを念じつゝ明るい気持で両家に向つた。

年頭の感あり

福瀬平野皆空

あわだゞしい昭和三十一年も一睡の夢、百八の除夜の鐘の音を聴く事は出来ませんが、年末セルの宣伝カーの騒音に多少神経多寡気味の私も一夜明くれば、天地閑寂、東天紅に染りて森羅万象悉く更生したかのように、世は正に昭和三十二年と云う新春をむかえ門松に希望と歓喜に溢れる新年の訪れ!!。

門松や冥土の旅の一里塚
目出度もなし
目出度もあり、

悟つた一休禅師の狂歌はこの様に深い人生への反省を促しています。

身は飛雲流水一切の毀誉褒貶と利害を超越して全国を旅しながら得意の狂歌を綴つて封建社会を諷刺した気骨ある自由人としての一休に何か親しめるものを感じます。

ともあれお正月!!悲しめる者も又悩める者も病める者も一様にこの新年を寿ぐでありましよう。

されど其処は亦現実の上に泣き笑いの人生でしかありません悲劇も存在するであろうし茨も介在するであろう更に悩みも発生する事でしよう。私達も亦そうした範疇の人間でしかあり得ないのを肯定するものでもあります。

六十余年の人生!!今其の後半のスタートに当り過去を追想するに只むざ〳〵と社会の流れに飛び込んで泳ぐ事に精一杯灰の色の生活でしかあり得なかつた。

窮乏と苦痛!!煩悶と悲哀!!試練と逆境とは私の日常の糧であるとは云えこうした荊棘の路は今後と云え共私の生のある限り果てしなく続く事でしよう。

こゝにも新年と云う人の世の節に当つて過去をふりかえつて将来に反省をする事も亦大きい意義があるとも感ぜられます。猪て毎年この正月こそはと、どれ程心の契をして来た事でしよう。しかるに新年は愚か其の日〳〵の反省にさえ契の出来ざる自分の愚かさを発見する私でもあり。真実に生きる事の難かしさを身に感ずる新年でもありました。

兎もあれ一年の計は元旦にありとするならば、せめて過去の怠性に鞭打つて一つの向上を求め己の心理的スランプより脱却して今年こそ更生一番大奮発を試み流れ行く我が生に昭和三十二年の正月こそ永却脳裡に留むべき戦いをつゞけたい。これこそ冥土の旅の一里塚を有意義に送迎する為めに一休禅師より教えられた僅かながらも年頭の私の感でもあります。

雲も見よ土も目に見よ
我が歩む
足の踏みにも心なしつゝ

編集後記

◇明けましておめでとうございます。

村民の皆さま、お健かで御加年のことゝおよろこび申します。村報も七歳の春を迎えました。本年もどうぞよろしく御支援の程お願い申します。

◇「生酔の礼者をみれば大道を横すじかいに春に来にけり」というような風景は近頃の正月には見られませんが、しかし正月というと万物皆新らたになつたような気がして見るもの聞くもの皆清々しくて何ともいえぬ心境にしたる事が出来新年の希望なども油然と湧き出て来ます。今更のように遠い祖先がこの正月という偉大な行事を創始してくれたことに無限の感げきを覚えます。

◇古くから正月には色々と正月らしい慣習がありその中には我が国民感情を育くんでくれた貴いものもありますが最近はこれ等の慣習も蔑履の如く無雑作に捨て去られる傾向にあるようですが、今一度静かに考えて我が国民感情をそだてるものは残したいものだと思つています。

◇新年号には村内各層の方々から年頭所感をたくさんいただきましたので順序不同で掲載させていたゞきました。この後も御玉稿をいたゞけたら猶有がたいと思つています。

元日や
雨となりけり屠蘇の酔